

鳴門教育大学(12) 発問・学習課題作りにつなげる国語科教材研究

1 目的

文学教材、説明的文章教材などの教材分析の観点を知り、実際に教材分析を行うとともに、分析内容をもとにして発問や学習課題を構想することを通して、教材研究力と授業実践力の向上を図る。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画(第4期)との関連について

重点項目Ⅴ-推進項目15-③教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

○授業力・学習指導「B 授業構想力」「C 授業実践力」「D 授業省察力・改善

力」

2 主催

鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期日

令和7年8月1日(金)

4 会場

鳴門教育大学 地域共創棟 1階 多目的教室

5 対象者

(1) 職種 教職員

(2) 校種 小・中・高・中等・特

(3) 定員 20名

6 内容

(1) 国語科教材研究の観点と方法

(2) 文学教材の教材研究の実際

(3) 説明的文章教材の教材研究の実際

7 講師

鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 国語科教育コース 教授 幾田 伸司

8 日程

9:30~9:50 受付(地域共創棟 1階 多目的教室)

9:50~10:00 開会、イントロダクション

10:00~11:00 講義「国語科教材研究の目的と観点」

内容 国語科教材研究の目的と観点について、講義を行う。

11:00~12:00 演習「詩の教材研究」

内容 詩教材を対象とする教材研究を実際に行い、多様な解釈を

想定するための教材研究の方法を検討する。

12:00~13:00 昼食

13:00~14:20 演習「物語の教材研究」

内容 物語教材について、読みの深まりと多様性を想定するため

の教材研究の観点を踏まえて教材分析を行い、発問・学習課題を考える。

14:30~15:50 演習「説明的文章の教材研究」

内容 説明的文章教材について、論理構成や述べ方の工夫に着目

した教材研究の方法を検討し、発問・学習課題を考える。

15:50~16:00 リフレクション、閉会

9 準備物

筆記用具等(署名ができるボールペン等を準備してください。)

10 その他

(1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職(緊急の場合は本人)が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト(令和7年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照)からダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】徳島県立総合教育センター教職員研修課

kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】徳島県教育委員会体育健康安全課

taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp(県立校からJoruriメールでの送信

時に使用)

taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp(上記以外に使用)

(2) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がある場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(1)の手順に従ってください。

(3) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。5月~10月に実施する研修についてはエコスタイル(夏はノー上着・ノーネクタイ等)で結構です。

(4) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域(鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地

域)に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

(5) 昼食は、近辺でとるか、各自で御用意ください。大学食堂も御利用いただけます。

(6) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 宮城 久子 088-672-6419